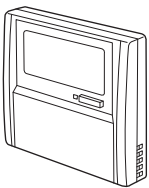


Panasonic[®]

工事説明書

熱交換気ユニット用リモコン

品番 FY-EB41SR



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。

設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する
不備があると火災・感電の原因になります。

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実におこなう
誤った配線工事は、火災や感電の原因になります。
●専用配線工事の場合は、必ず電気工事士の資格者がおこなってください。

施工は、この工事説明書に従って確実におこなう
据え付けに不備があると、感電、火災などの原因になります。

設置工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「電気工事士」が確実におこなう
火災や感電の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
発熱や火災の原因になります。

施工は、質量に耐える強度のある所に工事説明書に従って確実におこない、強度不足の場合には補強する
感電、火災、けがの原因になります。

注意

下記の場所には設置しない
・可燃性ガス等の漏れるおそれのあるところ
・水や油（機械油含む）の飛沫の多いところ
・電圧変動の多いところ
・電磁波を発生する機械のあるところ
・有機溶剤の飛沫するところ
火災・感電・けがの原因になります。

お願い

- 直射日光が当たる窓際などへの設置はしないでください。
- リモコンの取り付け高さは、床面より1～1.5mの範囲内にしてください。
- このリモコンは防湿・防滴仕様ではありませんので、冷凍・冷蔵庫内には設置しないでください。
- リモコンは、必ず壁面などに垂直に設置してください。
- リモコンを並列設置するときは5mm以上離してください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどはリモコンから1m以上離して設置してください。映像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- リモコンの近くで暖房器具を使用しないでください。
プラスチック部分が熱により変形、変色することがあります。

外形寸法図

単位:mm

付属品

番号	付属品	個数	番号	付属品	個数
①	リモコン	1	④	取扱説明書	1
②	小ネジ M4×2.5	2	⑤	工事説明書	1
③	木ネジ	2			

お願い この製品専用の付属品以外は使用しないでください。

施工方法

お願い

- ・リモコン配線は、電源配線などと一緒に合わせたり、同一金属管内に収納しますと、誤動作の原因となりますので避けてください。
- ・リモコンは、ノイズの発生源から離して取り付けてください。
- ・ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルターを取り付けるなどの処置が必要です。

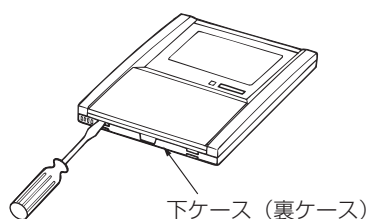
●接続図

- 配線は0.5mm²～1.25mm²を使用します。
- 誤配線すると故障の原因になります。
- リモコン配線には、柔軟性のあるケーブルをご使用ください。
- 単線は使用しないでください。

推奨 電線 VCTF
VCT
MVV-S

施工方法

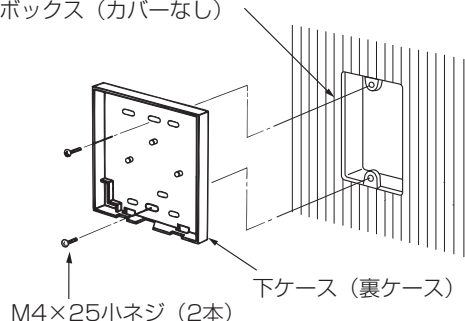
- ①リモコン本体下側の溝にマイナスドライバーなどを押しこんであげ、下ケースをはずしてください。



②下ケースの取り付けかた

- リモコンを埋込型としてご使用の場合は、あらかじめ現地で壁内に埋め込まれた図に示すJISボックス（現地手配）に取り付けてください。下ケースを付属のM4小ネジ（2本）を使用して固定します。なお、取り付け前に使用するJISボックスに対応するビス用穴をドライバーなどで押しあけてください。

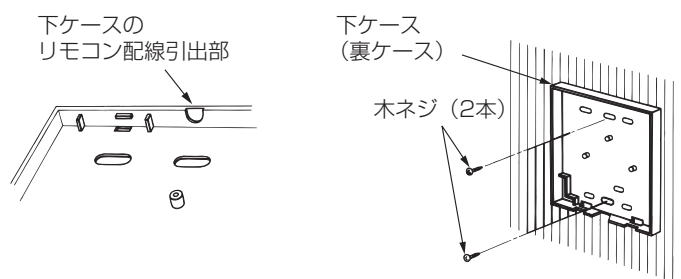
JIS C8340
1個用スイッチボックス（カバーなし）
または2個用スイッチボックス（カバーなし）



ねじが下ケースにあたるまで、しっかりと固定してください。上ケース取り付け時にねじ頭が基板にあたり故障の原因になります。ねじを締めすぎると下ケースが変形し、落下の原因になります。



- 露出型としてご使用の場合は、リモコンが固定できる壁面に取り付けてください。リモコン配線は、下ケースリモコン配線引出部（中央上部の肉薄部）をニッパなどで切り欠き、この部分より出してください。下ケースを木ネジ（2本）を使用して壁面に固定してください。



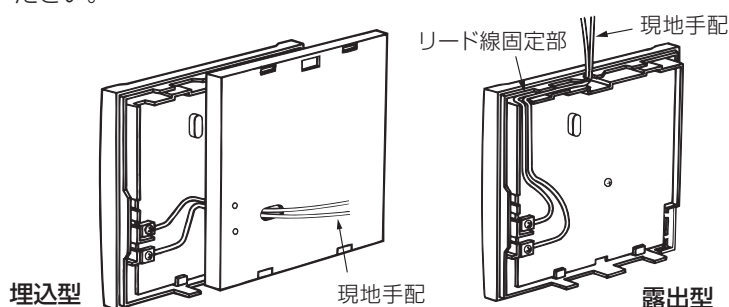
ねじが下ケースにあたるまで、しっかりと固定してください。上ケース取り付け時にねじ頭が基板にあたり故障の原因になります。ねじを締めすぎると下ケースが変形し、落下の原因になります。



③リモコン端子台に、リモコン配線を接続してください。

リモコンの配線は、熱交換気ユニットの端子番号を確認の上、誤配線ののないよう接続してください。（誤配線するとこわれます。）

- 図のような経路で配線し、余分なリモコン配線はリモコンケース内に収納しないでください。
- 基板から出ている金属の突起物にリモコン配線が触れないようにご注意ください。



④リモコン本体を下ケースのツメに合わせ、はめ込み取り付けてください。

リモコンを複数個設置される場合のお願い

このリモコン制御は、1台または複数台のユニットを、複数個のリモコンで操作するものです。（最大2個まで設置可能です）

●設定の方法

この制御をおこなうときは、次の手順にて設置をしてください。

- ①複数個設置した中の1個は親リモコンとしてください。（工場出荷状態）
- ②もう一個のリモコンは子リモコンにしてください。

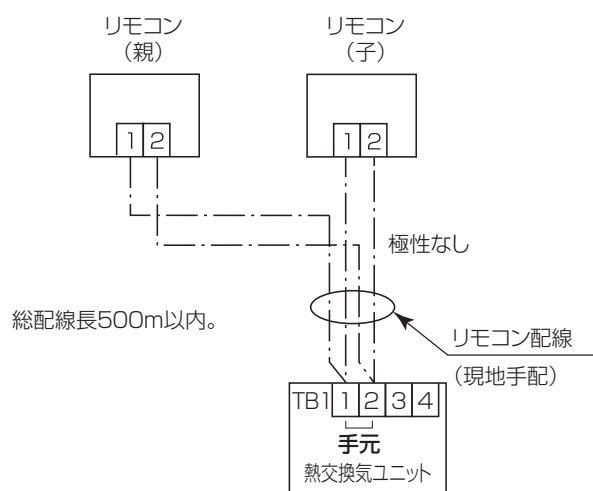
リモコン親子設定のしかた

- ① **セット/取消** + **ユニット選択** ボタンを4秒以上押します。
 - ② 時間 **▼/▲** ボタンで、項目コード **01** を指定して **セット/取消** ボタンを押します。
 - ③ 時間 **▼/▲** ボタンで、設定データを **0001** (親) から **0000** (子) に変更します。
 - ④ **セット/取消** ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
 - ⑤ **タイマー** ボタンを押します。
- 設定した情報は、リモコンの電源が切れても保持されます。

●基本配線図

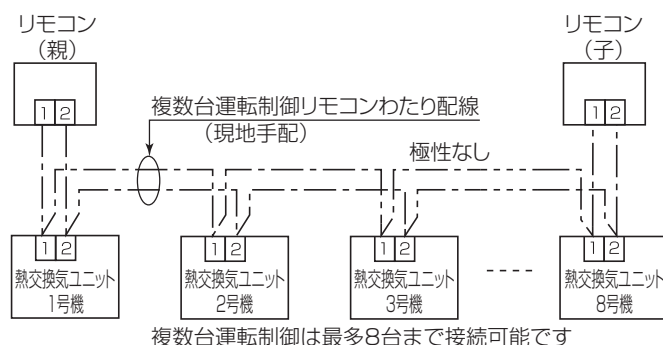
注：配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

- 熱交換気ユニット1台を、リモコン2か所設置にて操作する場合。

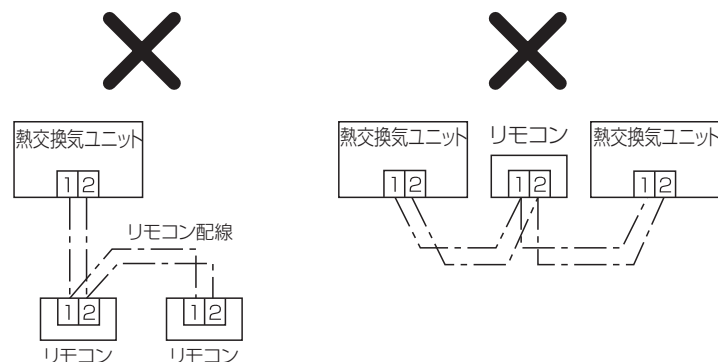


●複数台運転制御を、リモコン2か所にて操作する場合。

- ※親、子リモコンはいずれの熱交換気ユニットに取り付けても動作します。
- ※総配線長500m以内。ただし熱交換気ユニット間のわたり総配線長200m以内。



※以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。



パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co.,Ltd. 2012

85464369550000A-P0412-1042